

# M-AUDIO®




# M-TRACK EIGHT

---

ユーザ・ガイド

# 安全にお使いいただくために

## この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

## 製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源ブラクは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[ WEB ] <http://numark.co.jp/m-audio/>

**M-AUDIO**® <お問い合わせ>

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

## ユーザ・ガイド

### はじめに

#### 同梱品

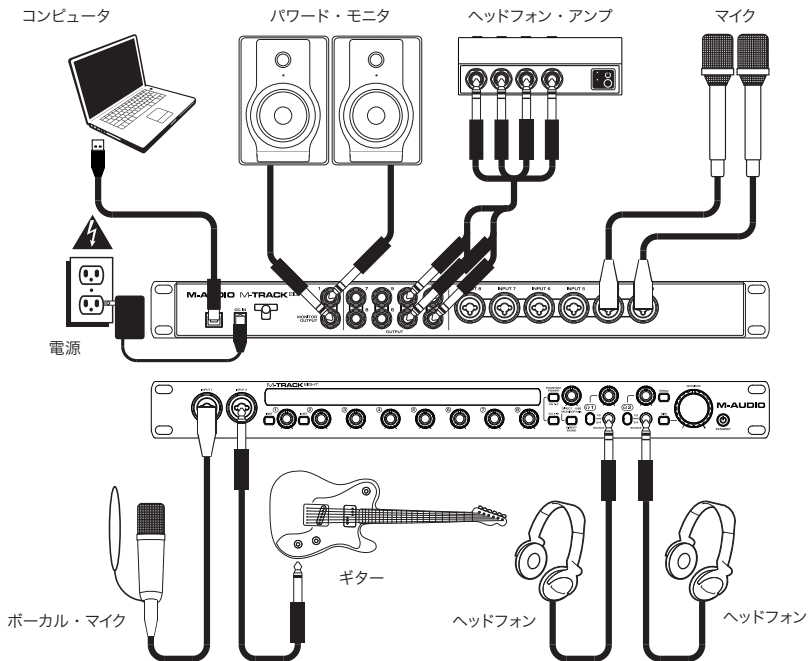
- ・ M-Track Eight 本体
- ・ AC アダプタ
- ・ Software Download Card (英文)
- ・ USB ケーブル
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

#### サポート

製品についての最新情報（動作環境や互換性に関する情報など）のご確認は、製品ページをご覧ください。  
<http://numark.co.jp/m-audio/mtrackeight/>

また、製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。  
<http://numark.co.jp/m-audio/support/>

### クイックスタート / 接続図

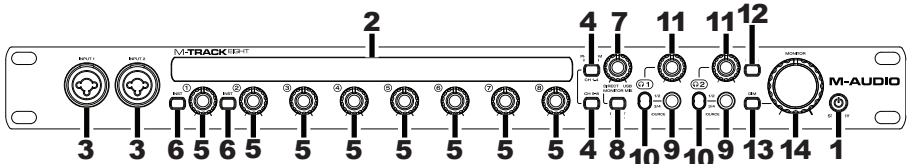


#### 重要：

- ご使用のデジタル・オーディオ・ワークステーション (DAW) の **Preferences** (環境設定) や **Option** (オプション)、**Device Setup** (デバイス設定) などの項目で、**M-TRACK EIGHT** を既定のインターフェイスに設定するのを忘れないでください。
- エレクトリック・ギターやベースをフロントパネルの **INPUT 1** や **2** の端子に接続する時には、該当するチャンネルの **INST** ボタンを押しておいてください。
- **+48V CH1-4** および **CH5-8** のスイッチは、接続するマイクがファンタム電源を必要とする場合にのみ使用してください。ファンタム電源は、ダイナミック・マイクやリボン・マイクには必要ありませんが、多くのコンデンサ・マイクには必要です。ご使用のマイクにファンタム電源が必要かどうかは、マイクの取扱説明書で確認してください。

## 各部の機能

### フロントパネル



- 電源モードボタン**：このボタンで、M-TRACK EIGHT の電源モードを切り替えます。ディスプレイの両端が点灯していれば、M-TRACK EIGHT の電源がオンの状態です。M-TRACK EIGHT の電源をオンにするには、ボタンを 1 回押しします。  
ディスプレイに葉形のアイコンが点灯している時には、M-TRACK EIGHT はスタンバイ・モード（低消費電力モード）に入っています。このボタンを 2 秒長押しする（電源がオンの場合）か、コンピュータがスリープ・モードや低消費電力モードに入って 30 分経つと、M-TRACK EIGHT はスタンバイ・モードに入ります。M-TRACK EIGHT の電源がオフの時には、ディスプレイの表示が完全に消えます。コンピュータとの接続を 30 分間感知しないと、M-TRACK EIGHT の電源は自動的にオフになります。スタンバイ・モードでも消費電力はわずかなので、手動でこのモードに入る必要はありません。
- ディスプレイ**：8 系統の入力レベルが、ここに表示されます。M-TRACK EIGHT の電源がオンになっている時には、ディスプレイの両端が点灯します。M-TRACK EIGHT がスタンバイ・モードに入っている時には、葉形のアイコンが点灯します。
- INPUT 1/2**：マイクやライン・レベルの機器、あるいはギターを、XLR ケーブルや 1/4 インチ TRS ケーブルでこの端子に接続します（マイク・レベルの入力には XLR、ライン・レベルの入力には TRS ケーブルをそれぞれ使用してください）。入力レベルは、ディスプレイで確認します。
- +48V スイッチ**：チャンネル 1 ～ 4 および 5 ～ 8 のいずれかまたは両方に対応する XLR 端子から供給される、ファンタム電源のオン/オフを切り替えます。ファンタム電源は、ダイナミックやリボン・タイプのマイクには必要なく、コンデンサ・マイクの多くには必要だということに注意してください。ファンタム電源が必要かどうかは、マイクの取扱説明書で確認してください。
- 入力ゲイン・ノブ**：入力ゲインを調節します。演奏中に DAW のレベル・メータが「適正な」値を示すように、対応するノブを調節してください。メータがクリップ値やピーク値に達するまでレベルを上げると、音が歪むので注意してください。
- INST セレクタ**：このスイッチが押し込まれていない状態では、チャンネルがマイクまたはライン・レベルの信号に対応します。押し込んだ状態では、ギターやベースを接続した時のハイ・インピーダンスの入力信号に対応します。
- MONITOR MIX ノブ**：ゼロ・レイテンシーの入力信号（DIRECT）とコンピュータからの出力信号（USB）のミックス・バランスを無段階で調節します。

**参考**：ノブを DIRECT 側に絞りに切った状態では、INPUT 1、3、5、7 の入力信号が左チャンネル、2、4、6、8 の入力信号が右チャンネルにそれぞれまとめられます。これら左右のチャンネルは、DIRECT MONO あるいは MONO ボタンを押すと、まとめる（全ての入力が 1 つのチャンネルにミックスされた状態で聴く）ことができます。

このノブは、レコーディングで「バッファ・サイズ」や「レイテンシー」の問題が生じた時に便利です。コンピュータが入力されたオーディオ信号を処理してふたたび出力するには、わずかな時間がかかります。この時間は、バッファ・サイズの設定に左右されます。レイテンシーはその結果生じる、入力された信号（楽器の演奏や歌）と出力される信号（それらを DAW 経由で聴いたもの）の時間差です。バッファ・サイズを大きくすると、レイテンシーも大きくなります。

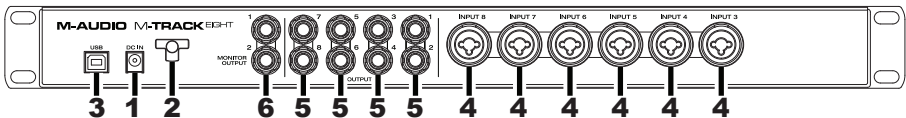
コンピュータの処理能力が高ければ、ダイレクト音をモニタする必要がないほど、バッファ・サイズを小さく設定できます。この場合は、このノブを USB 側に回し切り、DAW の出力信号だけをモニタしてください。ただし、バッファ・サイズを小さくすると、それだけコンピュータの CPU パワーを消費するので、オーディオ信号にエラーが生じることがあります。その場合には、バッファ・サイズを大きく設定する必要があり、結果的にレイテンシーが発生します。このような場合には、バッファ・サイズを大きく設定して、ノブを DIRECT 側に回し、レイテンシーのないダイレクト音をモニタするようにしてください。再生音だけを聴く時には、このノブを USB 側に回し切ってください。

- DIRECT MONO セレクタ**：INPUT 1、3、5、7 の入力信号を左チャンネル、同じく 2、4、6、8 の入力信号を右チャンネルで直接モニタする場合は、このスイッチが押されていない状態にしておきます。このスイッチを押すと（点灯します）、これら全ての入力信号がひとつにまとめられ、同じ信号が両チャンネルから出力されます。このスイッチは、DAW の再生音や、DAW に録音される音には影響しません。**ヘッドフォン出力（SOURCE セレクタで 1/2 を選択した場合）** や **MONITOR OUTPUT** でモニタする際の入力信号の聴こえ方に影響があるだけです。
- ヘッドフォン出力**：ヘッドフォンの 1/4 インチ TRS ケーブルをこれらの端子に接続します。これらの出力からどういったミックス音をモニタするかは、**SOURCE セレクタ**と **MONITOR MIX ノブ**で決定します。
- ヘッドフォン SOURCE セレクタ**：このスイッチで、(リアパネルの) MONITOR OUTPUT1 ~ 2 (1/2) か OUTPUT 3 ~ 4 (3/4) のどちらの信号をヘッドフォン出力にも送るかを選択します。
- ヘッドフォン・ボリューム・ノブ**：ヘッドフォン出力の音量を調節します。
- MONO セレクタ**：MONITOR OUTPUT 1 および 2 に送られる信号をステレオのままモニタする場合は、このスイッチが押されていない状態にしておきます。同じ出力に送られる信号を、同じモノ・ミックスの信号として両方の出力からモニタしたい場合は、このスイッチを押します（スイッチが点灯します）。このスイッチは、DAW に録音される音には影響しません。**ヘッドフォン出力（SOURCE セレクタで 1/2 を選択した場合）** や **MONITOR OUTPUT** でモニタする際の信号の聴こえ方に影響があるだけです。

**重要**：このスイッチは、**MONITOR OUTPUT 1 および 2** から出力される、あらゆるオーディオ信号に影響します。その信号には、ダイレクトの入力信号（**MONITOR MIX ノブ**がいくらかでも **DIRECT** 側に設定されている場合）も含まれます。

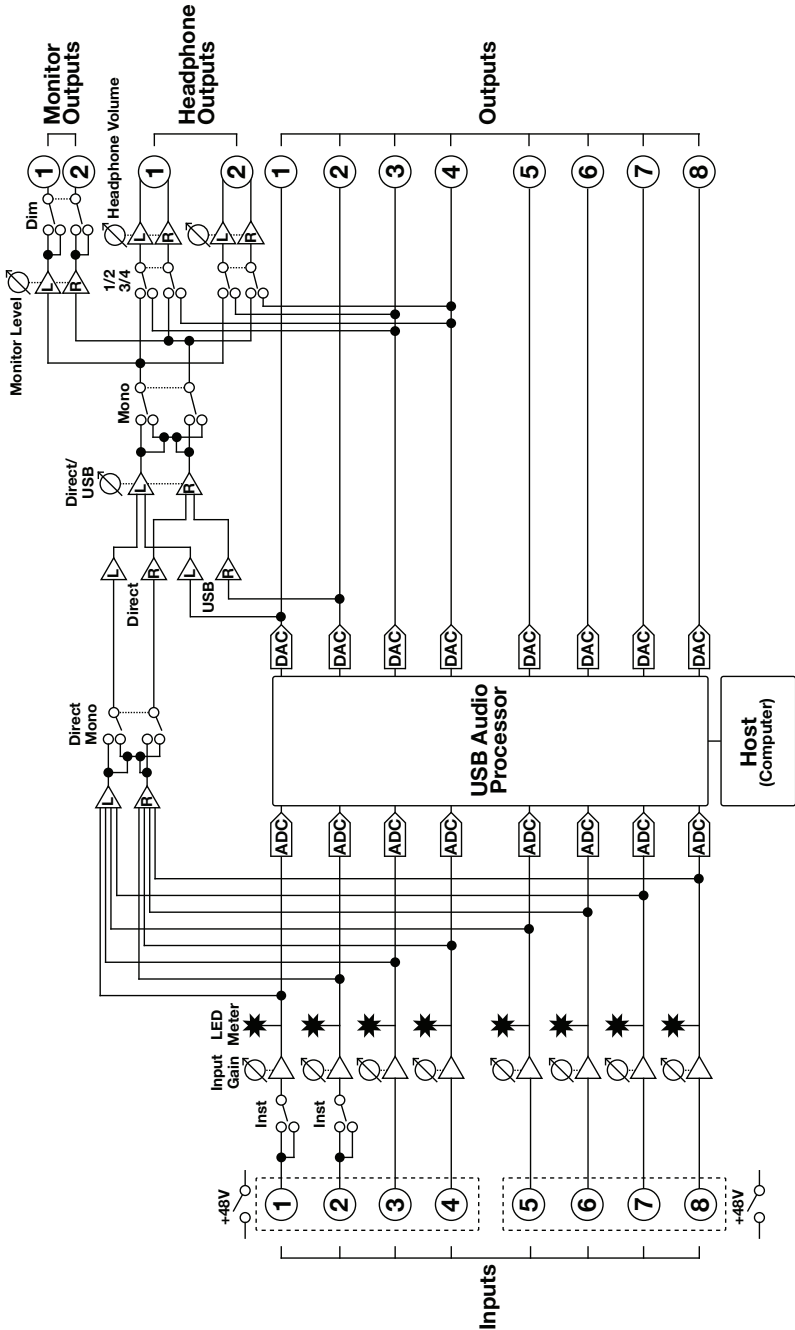
- DIM セレクタ**：このスイッチを押すと（点灯します）、MONITOR OUTPUT 1 および 2 の出力が 20dB 減衰します。これは、好みの位置に設定した **MONITOR レベル・ノブ**をいじらずに、ミックスを小音量で聴いた時のサウンドを素早く確認したい時に便利です。また、このスイッチは、M-TRACK EIGHT のフロントパネルの音量コントロールを下げても **MONITOR OUTPUT** のレベルが大きすぎるような時にも便利です。
- MONITOR ノブ**：通常はパワード・モニタやアンプ・システムに接続される、MONITOR OUTPUT 1 および 2 の音量を調節します。

## リアパネル



- DC IN 電源入力**：同梱の電源アダプタ（19V、2.37A、センタ・プラス）をここに接続し、アダプタをコンセントに接続します。
- 電源アダプタ用フック**：電源アダプタのコネクタが不意に抜けないように、コードをこのフックに引っかけておきます。
- USB ポート**：コンピュータとオーディオ信号をやり取りするためのポートです。USB ケーブルで M-TRACK EIGHT とコンピュータを接続します。M-TRACK EIGHT は、USB2.0 に対応したポートに接続する必要があります。
- INPUT 3 ~ 8**：マイクあるいはライン・レベルの機器を、XLR または 1/4 インチ TRS ケーブルで接続します（マイク・レベルの信号には XLR ケーブル、ライン・レベルの機器には 1/4 インチ TRS ケーブルをそれぞれ使用してください）。入力レベルは、フロントパネルのディスプレイで確認します。
- OUTPUT 1 ~ 8**：標準の 1/4 インチ TRS ケーブルで、これらの出力をパワード・モニタやアンプ・システムなどに接続します。出力レベルは自動的に **+10dB** に設定されているので、これらの出力はヘッドフォン・アンプやリモート・ミキサなどに接続すると良いでしょう。コンピュータの USB ポートから出力されるチャンネル 1 ~ 8 のオーディオ信号は、これらの出力端子に送られます。**ヘッドフォン SOURCE セレクタ**を 3/4 に設定すると、OUTPUT 3 および 4 の出力をヘッドフォン出力に送ることができます。
- MONITOR OUTPUT 1 ~ 2**：標準の 1/4 インチ TRS ケーブルで、これらの出力をパワード・モニタやアンプ・システムなどに接続します。これらの出力の音量は、**MONITOR ノブ**で調節します。これらの出力をヘッドフォンでモニタする場合は、**ヘッドフォン SOURCE セレクタ**を 1/2 に設定してください。

### シグナル・フロー・ダイアグラム



## 仕様

全ての仕様は、20kHz までの周波数帯域で計測したものです。

## マイク入力 1 ~ 8 (XLR バランス)

周波数特性：	20Hz ~ 20kHz (-/+0.1dB)
ダイナミック・レンジ：	111dB (A-weighted)
SN 比：	111dB (1kHz、+4dBu、A-weighted)
全高調波歪+ノイズ：	0.002% (1kHz、+4dBu、-1dB FS)
プリアンプ等価入力ノイズ：	-132dBu (ゲイン最大、ソース・インピーダンス 40Ω、A-weighted) -126dBu (ゲイン最大、ソース・インピーダンス 150Ω、Unweighted)
最大入力レベル：	+12dBu
入力感度：	-46dBu
ゲイン幅：	58dB

## ライン入力 (1/4 インチ TRS バランス)

周波数特性：	20Hz ~ 20kHz (-/+0.1dB)
ダイナミック・レンジ：	112dB (A-weighted)
SN 比：	111dB (1kHz、+4dBu、A-weighted)
全高調波歪+ノイズ：	0.002% (1kHz、+4dBu、-1dB FS)
最大入力レベル：	+16dBu
入力感度：	-13dBu
ゲイン幅：	29dB

## インストゥルメント入力 (1/4 インチ TS アンバランス)

周波数特性：	20Hz ~ 20kHz (-/+0.2dB)
ダイナミック・レンジ：	112dB (A-weighted)
SN 比：	111dB (1kHz、+4dBu、A-weighted)
全高調波歪+ノイズ：	0.001% (1kHz、+4dBu、-1dB FS)
最大入力レベル：	+9dBu
入力感度：	-21dBu
入力インピーダンス：	1MΩ
ゲイン幅：	30dB

## モニタ出力 1 および 2 (1/4 インチ TRS 差動バランス)

周波数特性：	20Hz ~ 20kHz (-/+0.1dB)
ダイナミック・レンジ：	112dB (A-weighted) 110dB (A-weighted、DIM スイッチ・オン時)
全高調波歪+ノイズ：	0.003% (1kHz、-1dB FS)
最大出力レベル：	+28dBu +8dBu (DIM スイッチ・オン時)

# M-AUDIO

ライン出力 1 ~ 8 (1/4 インチ TRS インピーダンス・バランス)

周波数特性： 20Hz ~ 20kHz (-/+0.1dB)

ダイナミック・レンジ： 113dB (A-weighted)

全高調波歪+ノイズ： 0.004% (1kHz、-1dB FS)

最大出力レベル： +10dBu

出カインピーダンス： 51Ω

## 全般

電源アダプタ： 19V、2.37A、センタ・プラス

寸法 (W x D x H)： 約 48.3cm x 15cm x 4.3cm

重量： 約 1.98kg

## 商標およびライセンス

M-AUDIO は、合衆国およびその他の国で登録された inMusic Brands, Inc. の商標です。

その他全ての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者によって登録された商標です。



# M-AUDIO®

---

[numark.co.jp/m-audio](http://numark.co.jp/m-audio)